



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場会社名 日本金銭機械株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6418 URL <http://www.jcm-hq.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上東 洋次郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長

(氏名) 高垣 豪

TEL 06-6703-8400

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 15,323 | 21.0 | 567 | — | 464 | — | 379 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 12,662 | △36.1 | △518 | — | △344 | — | △342 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 14.08 | — |
| 22年3月期第3四半期 | △12.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 28,584 | 22,398 | 78.4 | 830.18 |
| 22年3月期 | 28,775 | 23,343 | 81.1 | 865.16 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 22,398百万円 22年3月期 23,343百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 |
| 23年3月期 | — | 7.00 | — | — | — |
| 23年3月期 (予想) | — | — | — | 7.00 | 14.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,200 | 13.3 | 500 | — | 390 | — | 290 | — | 10.75 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期3Q | 29,662,851株 | 22年3月期 | 29,662,851株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期3Q | 2,682,023株 | 22年3月期 | 2,681,558株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期3Q | 26,981,064株 | 22年3月期3Q | 27,425,438株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）における世界経済は、新興成長国の経済拡大とともに、先進国の新興成長国での事業展開の成長が見られるなど、企業業績の回復が見られましたが、日本国内では急速に円高が進行するなど、予断を許さない経済状況が続きました。

このような経済情勢の中で当社グループを取り巻く環境につきましては、海外ゲーミング市場では、経済の先行き不透明感から本格的な需要回復には至りませんでした。前期に比べ、受注の回復が見受けられるとともに、海外コマース市場向けでは、新製品の投入による需要増加も見られました。一方、国内の遊技場向機器市場では、パチスロコーナーの人気回復による関連設備の受注増加に加え、新製品を開発し、積極的な販売活動を行ったことにより、設備機器の販売が拡大いたしました。また、経費削減を中心とした経営改善に向けた取り組みも利益の拡大に寄与しました。

この結果、第3四半期連結累計期間における売上高は153億23百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は5億67百万円（前年同期は5億18百万円の損失計上）、経常利益は4億64百万円（前年同期は3億44百万円の損失計上）、四半期純利益は3億79百万円（前年同期は3億42百万円の損失計上）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、第1四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しており、同基準のセグメント別に記載しております。

①日本金銭機械

第2四半期に引き続き堅調に推移しましたので、当セグメントの売上高は90億89百万円となりましたが、円高が急激に進行したことなどにより、セグメント利益は1億73百万円の損失計上に至りました。

②遊技場向機器事業

遊技場市場では、パチスロ人気の回復が見られ、ホールの設備投資需要が増加するとともに、カードユニットなどの新製品を市場に投入するなど、積極的な販売展開をおこなったことなどにより、当セグメントの売上高は62億65百万円、セグメント利益は1億82百万円となりました。

③北米地域

第2四半期に引き続き、コマース市場向けは、順調に推移しましたが、ゲーミング市場向けは低調でしたので、当セグメントの売上高は45億9百万円、セグメント利益は1億8百万円となりました。

④欧州地域

欧州地域では、英国ゲーミング市場向けに、紙幣還流ユニットの新製品の受注が拡大したことなどから、当セグメント売上高は35億63百万円、セグメント利益は3億17百万円となりました。

⑤アジア地域

当セグメントは、当社グループの生産機能を担っております。当四半期には、国内外向けの新製品の量産立上げなどに注力しました。当セグメントの売上高は45億2百万円、セグメント利益は1億77百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は285億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1億91百万円減少いたしました。売上高の増加により「受取手形及び売掛金」が増加し、新製品の量産化により「商品及び製品」、「原材料及び貯蔵品」のたな卸資産が増加いたしました。

負債合計は、61億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ、7億52百万円増加いたしました。引当金関連が減少する一方、生産量の増加に伴い「支払手形及び買掛金」が増加いたしました。

純資産合計は、223億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ、9億44百万円減少いたしました。主に、米ドル・ユーロの通貨安に伴う在外子会社に係る為替調整勘定が減少したことによりです。

(キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間では、税金等調整前利益6億62百万円を計上いたしましたが、前期と比較して、販売状況の改善に加え、新製品の量産化が集中したことにより、売上債権やたな卸資産が増加したことなどから、営業キャッシュ・フローでは、14億41百万円の資金の減少となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローでは、定期預金の増加や有形固定資産の取得などがありましたので、13億47百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払等がありましたので、1億4百万円の資金の減少となりました。

このほか、現金及び現金同等物に係る換算差額4億73百万円の資金の減少がありました。これらの結果、現金及び現金同等物は78億26百万円となり、前連結会計年度末と比較し、33億66百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の業績予想につきましては、平成22年11月2日に公表いたしました発表値からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,007,911 | 11,918,432 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,978,321 | 3,607,448 |
| 有価証券 | 252,074 | 92,047 |
| 商品及び製品 | 3,383,005 | 2,873,889 |
| 仕掛品 | 532,621 | 470,894 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,641,265 | 1,614,769 |
| その他 | 1,012,600 | 1,357,312 |
| 貸倒引当金 | △90,177 | △93,454 |
| 流動資産合計 | 21,717,623 | 21,841,338 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,947,404 | 4,839,675 |
| 無形固定資産 | 376,014 | 547,094 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,774,250 | 1,769,993 |
| 貸倒引当金 | △231,137 | △222,508 |
| 投資その他の資産合計 | 1,543,112 | 1,547,485 |
| 固定資産合計 | 6,866,530 | 6,934,254 |
| 資産合計 | 28,584,154 | 28,775,593 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,790,161 | 2,389,729 |
| 未払法人税等 | 69,738 | 68,889 |
| 賞与引当金 | 92,641 | 210,016 |
| 役員賞与引当金 | 1,500 | 3,000 |
| 事業構造改善引当金 | — | 430,000 |
| その他 | 2,171,185 | 1,376,253 |
| 流動負債合計 | 5,125,226 | 4,477,888 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 19,917 | 18,928 |
| 負ののれん | 256,393 | 400,614 |
| その他 | 783,736 | 535,103 |
| 固定負債合計 | 1,060,046 | 954,645 |
| 負債合計 | 6,185,273 | 5,432,533 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,216,945 | 2,216,945 |
| 資本剰余金 | 2,069,003 | 2,069,003 |
| 利益剰余金 | 22,872,403 | 22,870,167 |
| 自己株式 | △2,325,619 | △2,325,304 |
| 株主資本合計 | 24,832,732 | 24,830,812 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,547 | 206,297 |
| 繰延ヘッジ損益 | 10,359 | △11,153 |
| 為替換算調整勘定 | △2,452,757 | △1,682,895 |
| 評価・換算差額等合計 | △2,433,850 | △1,487,752 |
| 純資産合計 | 22,398,881 | 23,343,059 |
| 負債純資産合計 | 28,584,154 | 28,775,593 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 12,662,835 | 15,323,805 |
| 売上原価 | 7,129,169 | 8,788,521 |
| 売上総利益 | 5,533,666 | 6,535,283 |
| 割賦販売未実現利益戻入額 | 12,740 | 72,103 |
| 割賦販売未実現利益繰入額 | 60,548 | 145,115 |
| 差引売上総利益 | 5,485,857 | 6,462,271 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,004,299 | 5,894,924 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △518,441 | 567,347 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 28,354 | 24,666 |
| 受取配当金 | 20,611 | 20,303 |
| 還付加算金 | 26,588 | — |
| 負ののれん償却額 | 128,196 | 144,221 |
| その他 | 52,363 | 73,216 |
| 営業外収益合計 | 256,114 | 262,406 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 926 | 16,910 |
| 為替差損 | 66,159 | 331,182 |
| その他 | 15,498 | 16,732 |
| 営業外費用合計 | 82,583 | 364,825 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △344,911 | 464,928 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 303 |
| 投資有価証券売却益 | 5,778 | 217,157 |
| 貸倒引当金戻入額 | 42,009 | 12,638 |
| 違約金収入 | — | 25,000 |
| 特別利益合計 | 47,787 | 255,099 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,330 | 66 |
| 固定資産除却損 | 9,619 | 12,262 |
| ゴルフ会員権評価損 | 1,500 | — |
| 事務所移転費用 | 19,107 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 3,528 |
| 子会社清算損 | — | 41,880 |
| 特別損失合計 | 31,556 | 57,738 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △328,679 | 662,289 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 87,791 | 170,336 |
| 法人税等調整額 | △73,519 | 111,981 |
| 法人税等合計 | 14,272 | 282,317 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △342,951 | 379,971 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △328,679 | 662,289 |
| 減価償却費 | 683,167 | 628,683 |
| 負ののれん償却額 | △128,196 | △144,221 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △342,298 | △109,002 |
| 子会社清算損益(△は益) | — | 41,880 |
| 事業構造改善引当金の増減額(△は減少) | — | △430,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | △48,966 | △44,969 |
| 支払利息 | 926 | 16,910 |
| 為替差損益(△は益) | 28,504 | 87,597 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 10,949 | 12,025 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △5,778 | △217,157 |
| 違約金収入 | — | △25,000 |
| ゴルフ会員権評価損 | 1,500 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 199,960 | △1,533,194 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,300,204 | △1,910,401 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △615,233 | 628,450 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 59,091 | △47,171 |
| その他 | △765,463 | 1,003,336 |
| 小計 | 49,688 | △1,379,943 |
| 利息及び配当金の受取額 | 48,346 | 43,884 |
| 利息の支払額 | △926 | △16,910 |
| 法人税等の支払額 | △649,020 | △88,672 |
| 法人税等の還付額 | 1,868,990 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,317,078 | △1,441,642 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | △176,523 | △566,519 |
| 有価証券の純増減額(△は増加) | 94,845 | △178,767 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △626,980 | △722,804 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,820 | 1,633 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △34,192 | △13,966 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 254,719 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △985 | △379,581 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 46,162 | 489,753 |
| 貸付けによる支出 | — | △600 |
| 貸付金の回収による収入 | 14,306 | 23,773 |
| 子会社の清算による収入 | 15,000 | — |
| その他 | 800 | △50 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △410,026 | △1,347,130 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の返済による支出 | △200,000 | — |
| リース債務の増加による収入 | 52,826 | 364,212 |
| リース債務の返済による支出 | △3,040 | △84,594 |
| 配当金の支払額 | △496,507 | △383,343 |
| 自己株式の取得による支出 | △694,911 | △315 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,341,631 | △104,040 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △37,481 | △473,579 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △472,061 | △3,366,392 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,559,163 | 11,193,347 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 12,087,101 | 7,826,955 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社および連結子会社は、事業の種類として「金銭関連機器事業」および「レジャー関連その他の事業」に区分しておりますが、当第3四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める「金銭関連機器事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 日本 (千円) | 北米 (千円) | アジア (千円) | 欧州 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------|------------|------------|-------------|------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 5,831,502 | 3,902,218 | 10,393 | 2,918,719 | 12,662,835 | — | 12,662,835 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2,767,209 | 9,261 | 1,625,502 | 19,152 | 4,421,125 | (4,421,125) | — |
| 計 | 8,598,711 | 3,911,480 | 1,635,895 | 2,937,872 | 17,083,960 | (4,421,125) | 12,662,835 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △1,443,771 | △6,545 | △84,166 | 244,378 | △1,290,104 | 771,662 | △518,441 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は、次のとおりであります。
- (1) 北米 …………… 米国
 - (2) アジア …………… 香港、タイ
 - (3) 欧州 …………… ドイツ、英国、ブルガリア

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 北米 | 欧州 | その他の地域 | 計 |
|---------------------------|-----------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高 (千円) | 3,334,860 | 2,953,558 | 603,197 | 6,891,616 |
| II 連結売上高 (千円) | | | | 12,662,835 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%) | 26.3 | 23.3 | 4.8 | 54.4 |

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。
- (1) 北米……………米国、カナダ
 - (2) 欧州……………イタリア、ドイツ、スペイン、チェコ、英国、オーストリア、スロベニア、その他
 - (3) その他の地域……………オーストラリア、中国、その他
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に金銭関連機器等を生産・販売しており、国内においては、当社及び国内連結子会社が、海外においては海外連結子会社が、グループ内で機能・業務を担当しております。連結子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎としたセグメントから構成されており、「日本金銭機械」、「遊技場向機器事業」、「北米地域」、「欧州地域」及び「アジア地域」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 日本金銭機械 | 遊技場向機器事業 | 北米地域 | 欧州地域 | アジア地域 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,079,367 | 6,078,239 | 4,475,108 | 3,541,138 | 149,950 | 15,323,805 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 8,010,408 | 187,077 | 34,519 | 22,405 | 4,352,675 | 12,607,086 |
| 計 | 9,089,776 | 6,265,316 | 4,509,628 | 3,563,544 | 4,502,625 | 27,930,891 |
| セグメント利益又は損失(△) | △173,928 | 182,261 | 108,157 | 317,295 | 177,157 | 610,945 |

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 610,945 |
| 未実現利益の消去 | △199,330 |
| 負ののれん償却額 | 144,221 |
| 受取配当金の消去 | △118,302 |
| 全社収益 | 21,391 |
| その他の調整額 | 6,003 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 464,928 |

（注）全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。